

保存用

シーリングファン

CFN01

このたびは日立照明器具をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

●この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。

●お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに大切に保存してください。

■安全上のご注意

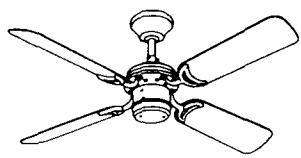
 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。

●取り付けについて

 警告	
●シーリングファンの取り付けは、取扱説明書に従って行ってください。取り付けに不備があると、落下・感電・火災等の原因となります。 ●取り付け、取り外しは必ず電源を切ってから行ってください。 ●振動や衝撃の大きい場所には取り付けしないでください。落下してけがの原因となります。 ●シーリングファンは、天井面の丈夫なところ（補強材のあるところ）に取り付けてください。薄い天井面、弱い天井面等に取り付けますと、器具落下の原因となります。（天井厚さ30mm以下、100mm以上には取り付けできません。） ●補強材は45×45以上が必要です。 ●取付金具には必ず木ねじ（回り止め用）を取り付けてください。回転して器具落下の原因となります。	
 取り付け	

 注意		
●交流100V（50Hz,60Hz）以外の電圧で使用しないでください。  間違えて器具に過電圧を印加した場合、器具の寿命が短くなったり、加熱による火災の原因となります。また、異常回転による振動が発生する場合があります。 電源電圧	●暖房器具、ガス器具等の真上付近等の温度の高い場所では使用しないでください。  火災・感電の原因となります。（この器具は、5～35℃の温度範囲で使用するよう設計されています。） 温度	●このシーリングファンは非防水形です。屋外や湿気の多い場所では使用しないでください。（蒸気の発生する場所など）  感電・火災・絶縁不良の原因となります。 湿気禁止
●シーリングファンを取り付ける際、壁紙、クロス貼りなどの接着剤が十分乾燥してから取り付けてください。メッキや塗装などの変色やサビの原因となります。 ●調光器（当社商品名ライトロール）による調光使用はできません。調光器が取り付けられている配線でご使用になりますとシーリングファンや照明器具（別売り）のランプが短寿命となります。また、異常回転による振動が発生する場合があります。 ●必ず壁スイッチを付けて使用してください。シーリングファン1台につき1つ必要です。 ●油、ホコリの多い場所や、薬品（酸、アルカリ）を使う場所には取り付けしないでください。火災、感電の原因となります。		

●ご使用について

 警告		
●シーリングファンを改造したり、部品を変更して使用しないでください。  落下・感電・火災の原因となります。 改造	●本体にぶらさがらないでください。落下してけがの原因となります。 ●紙や布などを器具や羽根にかぶせたり近くに置いたりして、使用しないでください。  可燃物	●異常な振動や音が発生した場合はただちに使用を停止してください。  火災等の原因となります。
 注意		
●運転中は羽根に触れないでください。けがの原因となります。  接触禁止 ●万一、羽根が壊れた時は全ての羽根を交換してください。振動してゆれや落下の原因となります。	●お手入れの際は、必ず電源を切ってください。  感電の原因となります。 電源を切って  OFF （安定した台などを用意してください。） （転倒してけがの原因となります。）	●長時間風にあたらしないでください。健康を害することがあります。 

■器具を取り付ける前に

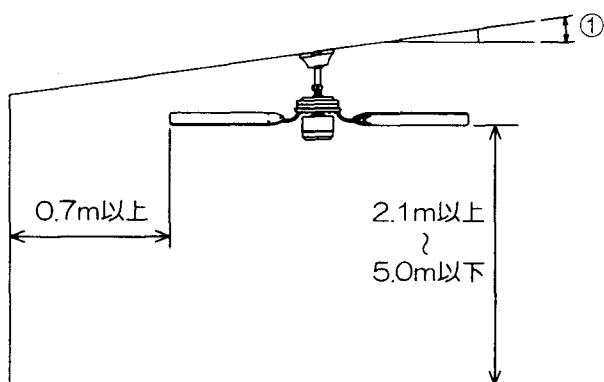
■シーリングファンの性能を確保するため、設置場所は十分検討の上決定してください。

■壁スイッチ1つに対して、1台のシーリングファンを取り付けてください。（1つの壁スイッチで2台以上のシーリングファンを取り付けると、照明器具（別売）の点灯が切り替わらない場合があります。）

※シーリングファンに使用しているモーターの振動音が発生する場合がありますが異常ではありません。

※シーリングファンの羽根の回転により横ゆれ（3～5mm）が発生する場合がありますが異常ではありません。

※シーリングファンには取付専用の照明器具のみ取り付けことができます。その他の照明器具は取り付けできません。取付可能な照明器具についてはカタログ等で確認してください。



●壁面から羽根までの先端まで0.7m以上離してください。

●床面から羽根までの高さは2.1m以上～5.0m以下で使用してください。

①傾斜天井で使用する場合は、下記角度以内としてください。

標準パイプ100mm（付属）使用時	傾斜角度8° まで
延長パイプ900mmタイプ（別売）使用時	傾斜角度30° まで

本体とまわりの壁面や他のシーリングファンとの間がせまいと、空気の流れがみだれて性能が低下したり、本体がゆれたりします。

左図の寸法以上になるように取り付けてください。

■補強されていない天井には取り付けしないでください。落下の原因となります。

（補強材は45×45以上が必要です。また30mm以下、100mm以上の厚みの天井には取り付けできません。）

■シーリングファン本体は引掛シーリングに取り付けることができません。天井面に引掛シーリングが取り付けられている場合は取り外してください。

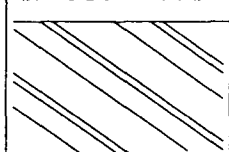
■延長パイプ（別売）使用時は、取り付けが正常であっても、羽根の回転によりシーリングファン本体にゆれが発生しますが異常ではありません。

■次のような場所には取り付けないでください（誤動作・故障の原因になります）

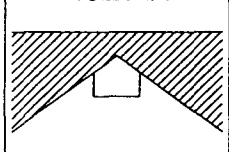
⚠ 警告

このシーリングファンは天井取付専用です。壁面には取り付けすることはできません。指定以外の場所には器具が取り付けられない場合や、取り付けいた場合でも火災・感電・落下してけがの原因となります。また、天井面とのすき間の発生の原因となります。

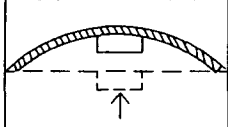
棧のあるサオブチ天井



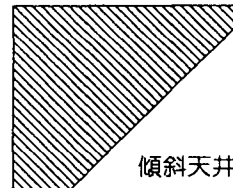
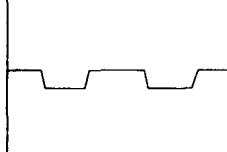
舟底天井



補強されていない
簡単にたわむ天井



凹凸のある天井



傾斜天井

※指定された角度以上

⚠ 注意

誤動作、故障の原因になります。

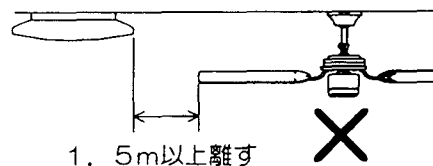
1. 高温・多湿（蒸気が発生する場所など）になるところには取り付けないでください。

2. 直射日光の当たる場所には取り付けないでください。変色や変形の原因となります。

3. 薬品・油・ホコリの多いところには取り付けないでください。



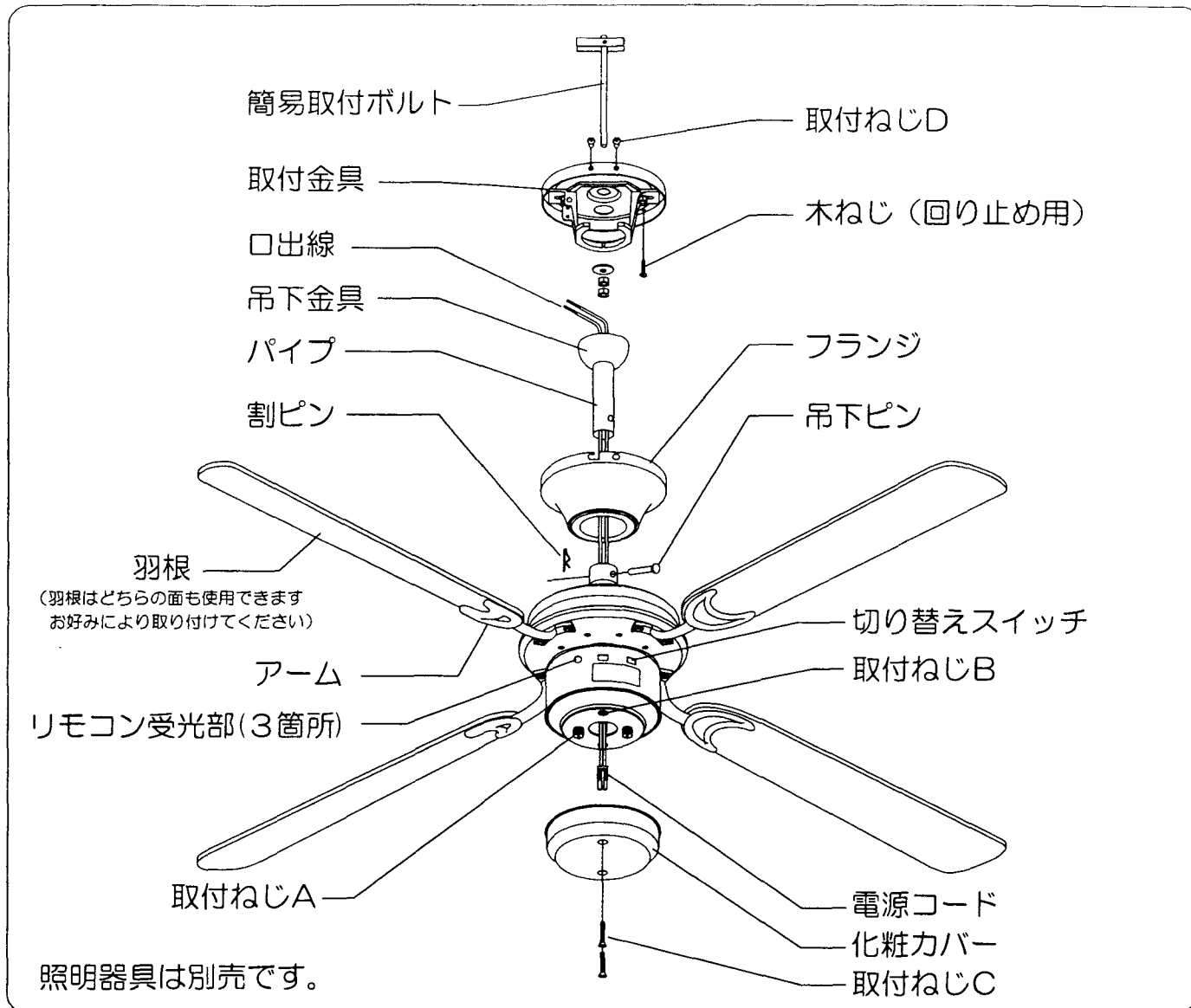
4. 他の蛍光灯照明器具と1.5m以内の場所には取り付けないでください。



1. 5m以上離す

■各部のなまえ

・この取扱説明書は同種類の器具と共通になっておりますので、お求めの器具と姿図が違っている場合があります。



■付属部品

付属品が全て入っているか確認してください。

リモコン IRT06KA1 リモコンケース 乾電池 単4 ケース 取付用 木ねじ	×4本 取付ねじD (フランジ取付用) M5×10 ※取付金具に取り付けられています。
×2本 羽根取付用ねじ(予備) M6×6 ×2個 羽根取付用赤ワッシャー(予備) ×2本 アーム取付用ねじ(予備) M6×10 ×2個 スプリングワッシャー(予備) ×1本 取付ねじD (フランジ取付用) M5×10 (予備)	×1本 吊下ピン ×1本 割ピン
※羽根取付用ねじ×12個 羽根取付用赤ワッシャー×12個 はアームに取り付けられています。袋入りのねじ類は予備ねじです。	×2本 取付ねじA M3.5×12 ※これらのねじ類は (照明器具(別売)取付用) ファン本体に取り 付けられています。 ×2本 取付ねじB M4×10 (照明器具(別売)取付用) ×8本 アーム取付用ねじ M6×10 ×8個 スプリングワッシャー
	×1本 簡易取付ボルト 木ねじ φ3.8×38座付 ×1本 (取付金具回転防止用) 化粧カバー 取付ねじC M4×25 2本付き

■シーリングファンの取り付けかた



警告

感電のおそれあり。

作業を行うときは、必ず電源(ブレーカー)を切ってください。

1. 天井に取付金具を取り付ける

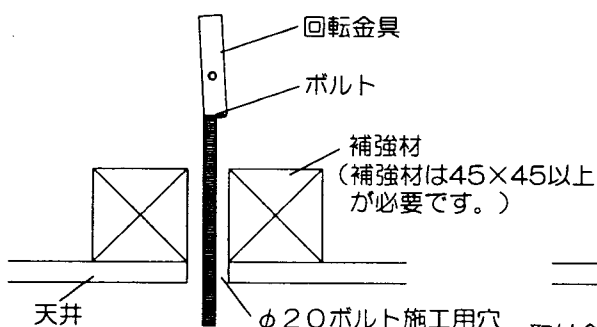
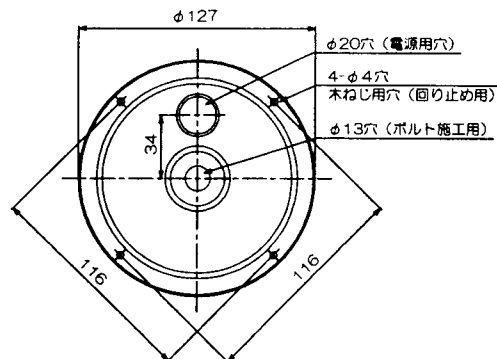
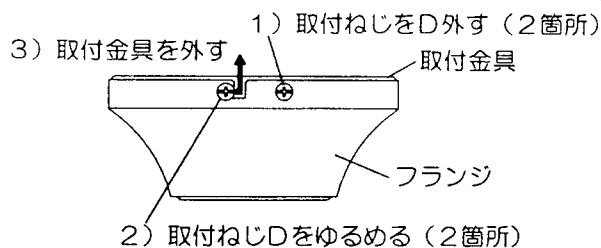
1. フランジから取付金具を外す。

- 1) 取付ねじDを2箇所外します。
- 2) 取付ねじDを2箇所ゆるめます。
- 3) フランジを回転させて取付金具を外します。

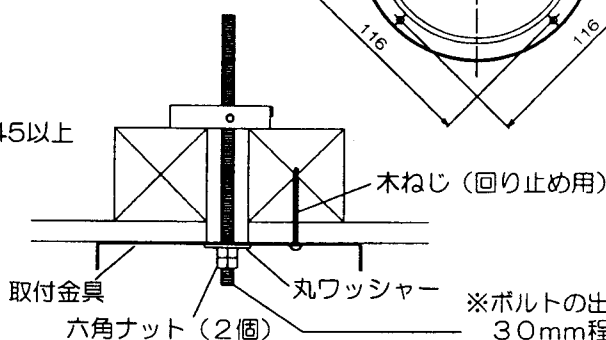
2. 天井面に取付金具を簡易取付ボルトで取り付ける。

●簡易取付ボルトによる取付方法

- 1) 天井面の強度を確認してください。
- 2) 天井面に簡易取付ボルト取付用穴φ20をあけます。
- 3) 簡易取付ボルトの回転金具を介して天井穴に挿入します。
- 4) 天井面から出幅が30mm程度になるようにボルトを回転させてください。
- 5) 取付金具のボルト施工用穴にボルトを通し、丸ワッシャー、六角ナット(2個)を締め付けて取付金具を固定します。
- 6) 取付金具に木ねじ(回り止め用)1本を取り付けます。



30mm以下、100mm以上の厚みの天井には取り付けできません。



※ボルトの出幅は天井面から30mm程度にする。



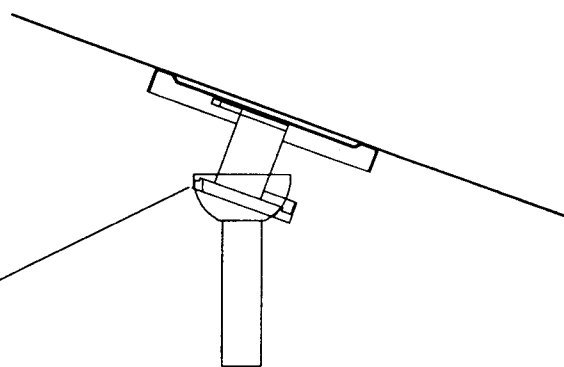
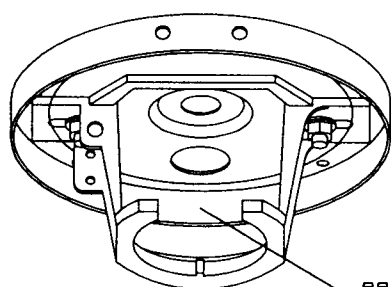
警告

落下のおそれあり。

- 取付天井は必ず補強してください。補強材は45×45以上必要です。

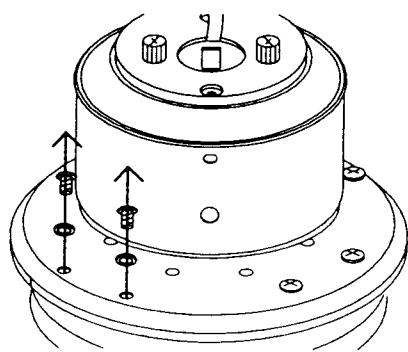
2. 傾斜天井に取り付ける場合

- 取付金具の開口部が上側となるように取り付けてください。



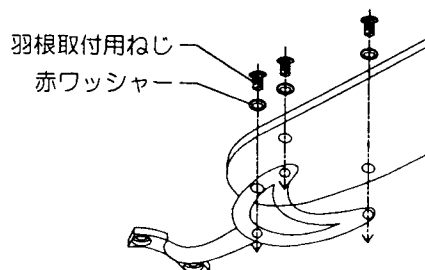
2. シーリングファン本体を組み立てる

1. 本体よりアーム取付用ねじとスプリングワッシャーを取り外します。(8本)



2. 羽根をアームに取り付けます。

- 羽根取付用ねじと赤ワッシャーをアームから外してください。
- 羽根をアームにセットしてから羽根取付用ねじと赤ワッシャーを取り付けてください。



※赤ワッシャーは必ず取り付けてください。

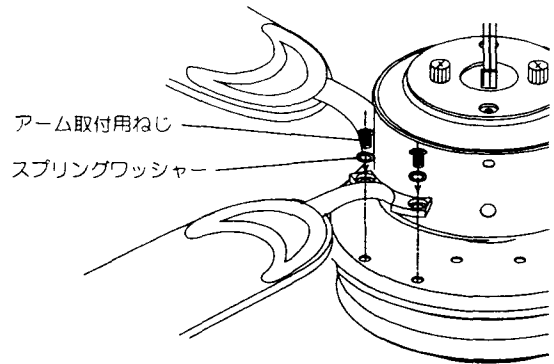
3. シーリングファン本体を組み立てる（つづき）

3. アームをシーリングファン本体に取り付けます。

本体より外したアーム取付用ねじ、スプリングワッシャーでしっかりと固定してください。

*スプリングワッシャーは必ず取り付けてください。

*羽根は必ず4本全て取り付けてください。



⚠ 警告 落下のおそれあり。

ねじは確実にしめてください。締め付けが不十分ですと落下してけがの原因となります。

4. パイプをシーリングファン本体に取り付けます。

(1)パイプにフランジを通してください。

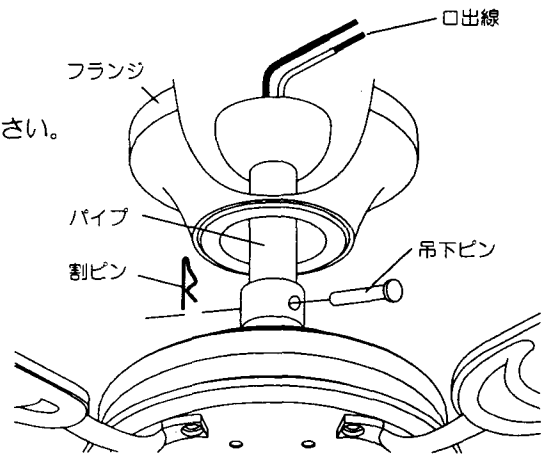
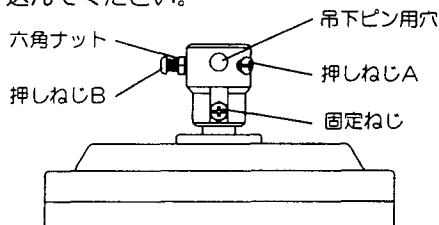
(2)パイプに本体の口出線を通してください。

(3)本体の押しねじA、Bをゆるめてから、パイプを本体中央穴に差し込み、吊下ピンを本体とパイプに通してから割ピンを取り付けてください。

(4)本体の押しねじA、Bを締め込み、パイプを確実に固定してください。

※パイプを持ち上げながら、押しねじを締め付けてください。

※押しねじBは六角ナットをゆるめることによって、ねじ込み位置を移動させることができます。六角ナットは確実に締め込んでください。



⚠ 警告 落下のおそれあり。

押しねじA、Bは確実に締めてください。締め付けが不十分ですと器具がガタついたり落下の原因となります。割ピンは必ず取り付けてください。取り付けないと落下の原因となります。固定ねじはゆるめたり、取り外したりしないでください。落下の原因となります。

3. シーリングファン本体を取り付ける

1. 組み立てたシーリングファン本体を天井に取り付けた取付金具に取り付けます。

取付金具のガイドに吊下金具の溝を合わせてください。

2. 口出線と電源線を結線してください。

※口出線は延長パイプ（900mm）に合わせた長さとなっています。

口出線を適当な長さに切断してから接続してください。

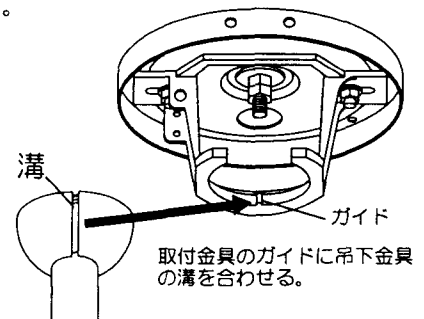
※口出線と電源線を結線する端子は付属しておりません。

3. フランジを取付金具に取り付けます。

(1)取付金具に取付ねじDを2本取り付けます。

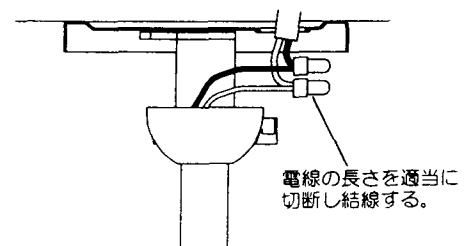
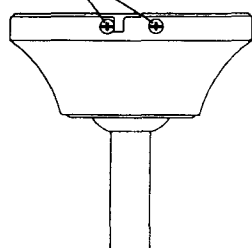
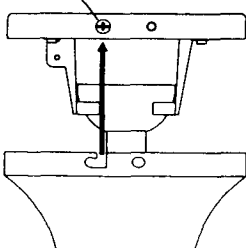
(2)フランジを取付ねじDに合わせて仮固定します。

(3)取付ねじD 4本でフランジを固定します。



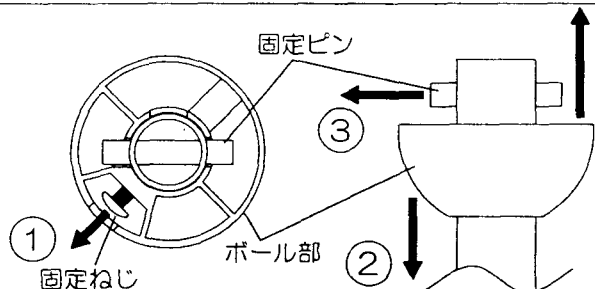
この取付ねじDに合わせてフランジを仮固定する。

取付ねじD 4本でフランジを固定する。



■延長パイプの取り付けかた

詳しくは延長パイプに付属されている取扱説明書をご確認ください。



- ① 固定ねじをゆるめます。
- ② 吊下金具のボール部を下げます。
- ③ 吊下金具の固定ピンを引き抜きます。
- ④ 吊下金具のボール部を引き抜きます。

吊下金具のボール部を用意した延長パイプ（別売）に取り付けます。

■化粧カバーの取り付けかた

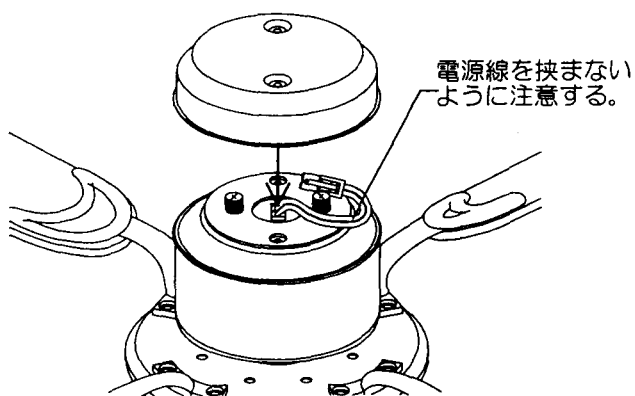
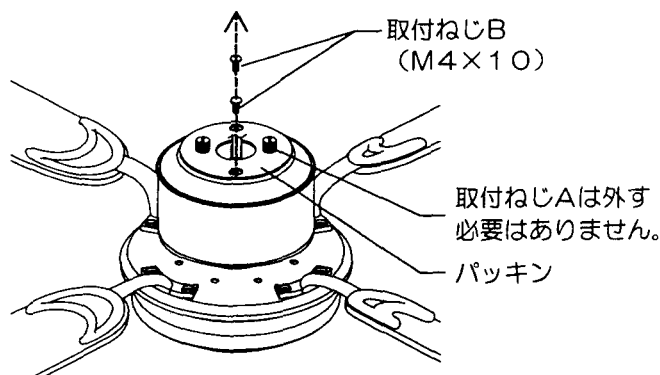
⚠ 注意

- 化粧カバーの取り付けは、電源を切ってから取り付けてください。感電の原因となります。
- 電源線をシーリングファン本体と化粧カバーに挟まった状態で取り付けないでください。感電・火災の原因となります。

※注）安全のため、ファン本体を天井より取り外し、床置きで化粧カバーの取り付け、取り外しを行ってください。

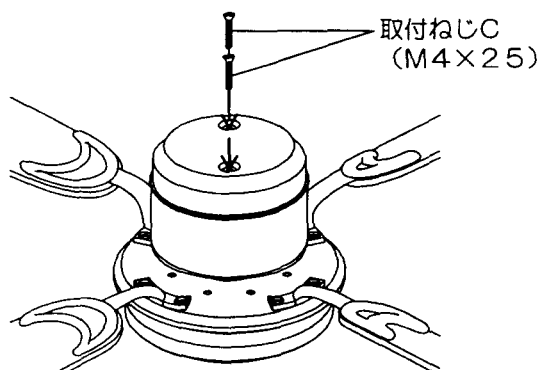
1. 取付ねじBを2本を外します。

2. 化粧カバーをファン本体に位置合わせします。



3. 付属の取付ねじC 2本で化粧カバーを固定します。

※注）取付ねじB（M4 x 10）2本は、照明器具（別売）を取り付ける際に使用します。紛失しないように注意してください。



※注）パッキンは、はがさないでください。照明器具（別売）を取り付ける際に使用します。

⚠ 注意

- 付属の取付ねじC（M4 x 25）で照明器具（別売）を取り付けしないでください。感電の原因となります。

取付ねじC
（化粧カバー付属）



取付ねじB



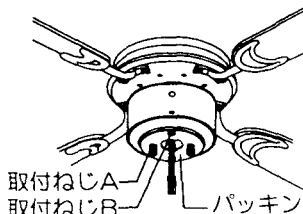
■化粧カバーの取り外しは、取り付けかたと逆の順序で行ってください。

■照明器具（別売）の取り付けかたについては、照明器具の取扱説明書をご確認ください。

※照明器具は専用器具のみ取り付けすることができます。

取付ねじA、Bを使用して照明器具を取り付けます。

⚠ 警告 感電のおそれあり。
作業を行うときは、必ず電源（壁スイッチ）を切ってください。



⚠ 注意

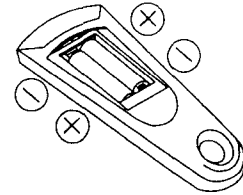
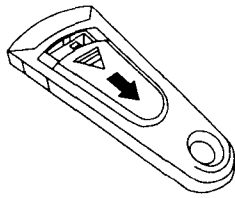
- シーリングファンの振動によりねじがゆるむ場合があります。6ヶ月に1回はねじがしっかり固定されているか確認してください。ねじがゆるんでいる場合は、ドライバーなどで締め直してください。
- 器具下部のパッキンは照明器具の傾き調整および振動抑制のためのものです。はがさないでください。

■リモコン

リモコンの準備（付属の乾電池を入れる）

1. 裏面のカバーを軽く押さえながら手前に引いてください。

2. 単4乾電池を入れてカバーを閉めてください。



ご注意

- 交換の際は必ず2本とも新品の乾電池を入れてください。動作不良の原因となります。
- 長期にわたり、リモコンを使用しない場合は、電池を外しておいてください。液もれなどでリモコンを傷める原因となります。

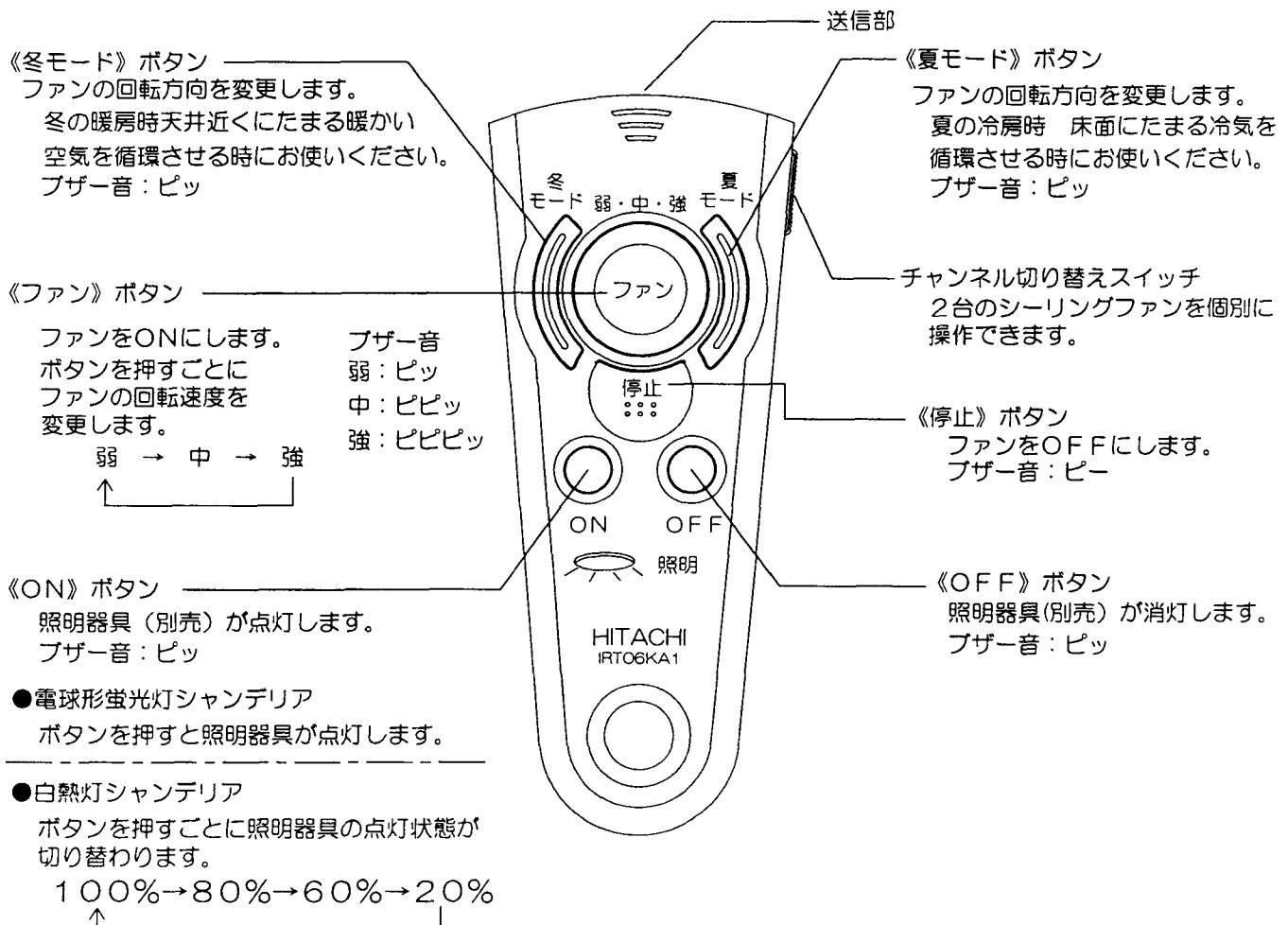
⊕ ⊖ を正しく入れる

リモコンケースの使いかた

- リモコンケースはリモコンに付属の取付用木ねじ（2本）で壁面に取り付けてください。
- リモコンケースは保管用です。リモコンケースに置いたままでリモコン操作をしても動作しない場合があります。

各部の名前

- リモコン操作は壁スイッチをONの状態にして行ってください。
- シーリングファンはリモコンでのみ操作ができます。

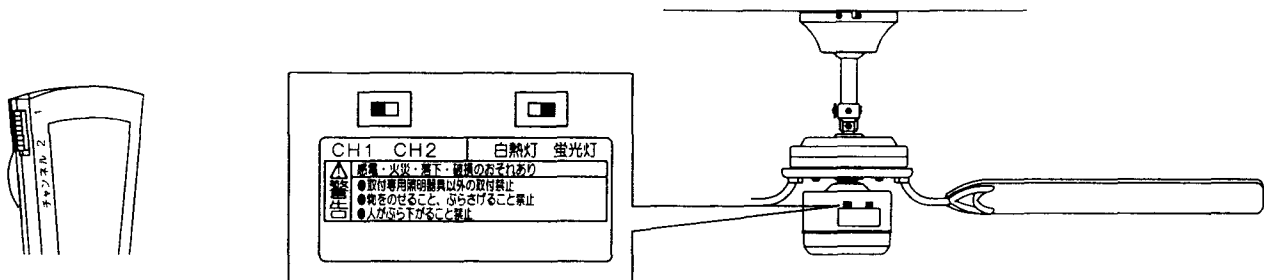


※白熱灯器具（シャンデリア）を使用する場合は、シーリングファン
本体の切り替えスイッチを「白熱灯」モードにしてください。

■リモコンの操作方法

リモコン操作方法

- リモコン操作は壁スイッチをONの状態に行ってください。シーリングファンはリモコンでのみ操作できます。
- リモコン受信の際、ブザー音が鳴ります。
※すでに設定されているモードと同じボタンを押してもブザーはなりません。
(例：《冬》モード中に《冬》ボタンを押してもブザーはなりません。)
- シーリングファン本体はリモコン信号受信時、約1秒後に動作を開始するように設定されています。



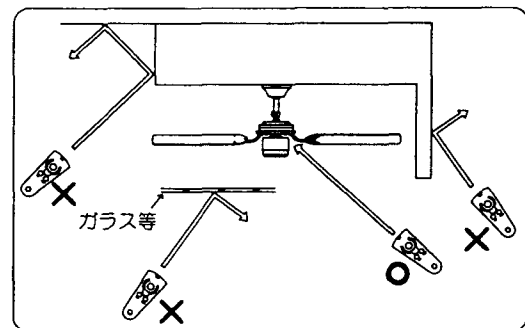
※工場出荷時のチャンネルは「CH1」、「白熱灯」になっております。

※白熱灯シャンデリアにはチャンネルスイッチがありません。

- リモコンをシーリングファンのリモコン受光部（3箇所）に向けて操作してください。
天井面が黒っぽい場合には検知しにくい場合があります。
- 照明器具が電球形蛍光灯器具の場合、点灯直後数分間、ファン操作および照明器具の《OFF》ボタンのリモコン操作ができない場合があります。
このような場合は、数分間経ってからリモコン操作を行ってください。

■リモコンご使用上の注意

- 長時間お使いにならない場合は電池を取り出しておいてください。液もれ等の故障の原因となります。
- リモコンおよびシーリングファンが誤動作した場合は、一度電源を切ってから電源を入れなおしてください。
- リモコンは、落としたり、水をかけたり、ふみつけたりしないでください。故障の原因となります。
- 天井・壁・床の色や材質で操作距離が短くなることがあります。
- この器具の近くで赤外線リモコン方式のテレビやワイヤレス機器等を使用すると相互のリモコンが正常に動作しないことがあります。
- 近くに蛍光灯器具があると、リモコンがききにくい場合があります。
- リモコンの周囲に右図のようなしゃへい物がある場合には、リモコンが動作しない場合がありますので、その際は、しゃへい物を避けて、再度ボタンを押してください。
- リモコンの送信部、器具の受光部は汚れますと動作しにくくなりますので乾いた布で拭いてください。
また電池が消耗してくると動作しにくくなりますので、その際は新しい電池と交換してください。
- このリモコンのリモコン信号を、市販の学習リモコンに記憶させて使用した場合、正常に動作しない場合があります。

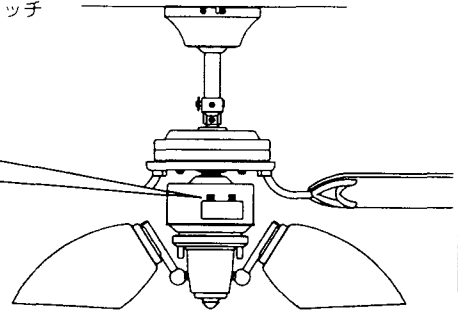
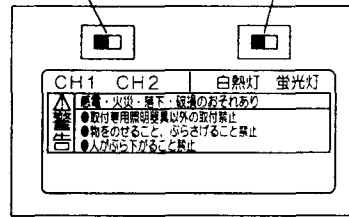


■壁スイッチ操作による点灯状態切り替え方法

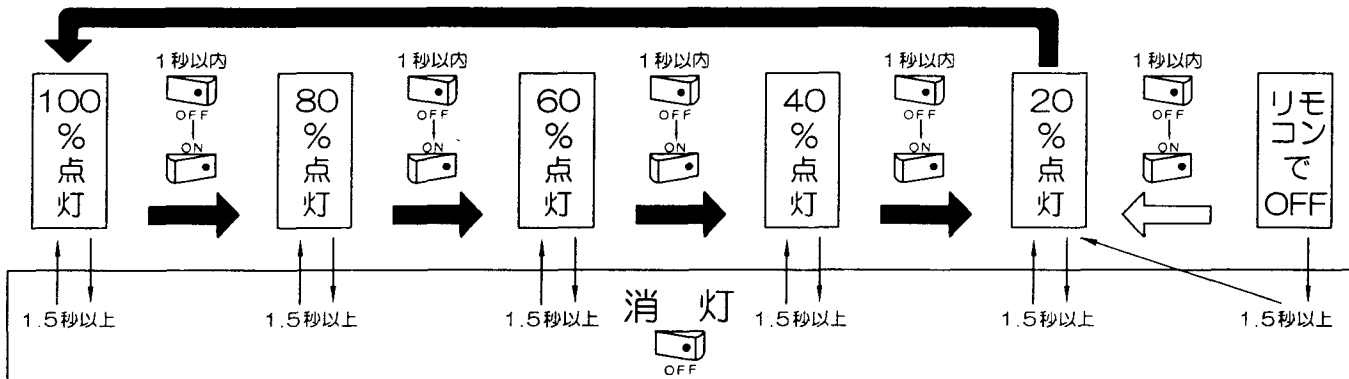
壁スイッチ操作により切り替えできます

- 白熱灯シャンデリアを取り付ける場合は、シーリングファン本体のスイッチが「白熱灯」モードになっていることを確認してください。
- 「蛍光灯」モードでは、明るさを切り替えることができません。

チャンネル切り替えスイッチ ランプ切り替えスイッチ



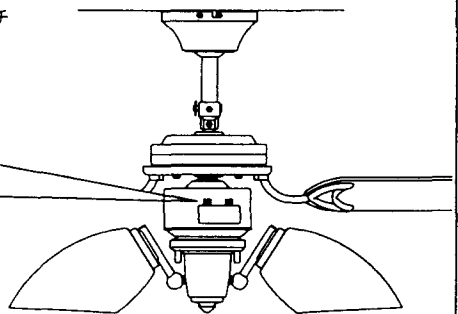
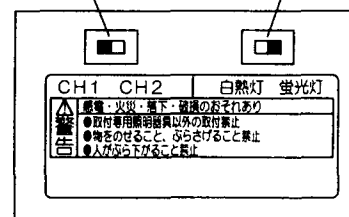
- 壁スイッチをOFFにして約1秒以内に壁スイッチをONすると、下図 ➡ の順序で点灯状態が切り替わります。
- 壁スイッチをOFFにして約1.5秒以上過ぎてから壁スイッチをONすると、OFFする前の状態で点灯します。
- リモコンで照明をOFFにして、壁スイッチをOFF→ON操作すると20%点灯します。



- シーリングファン動作中に壁スイッチによる操作を行うと、シーリングファンの回転は停止します。再度シーリングファンを動作させるにはリモコンにて操作してください。
- シーリングファン動作中に瞬時停電（0.1秒以内）が発生してもシーリングファンの回転は継続します。

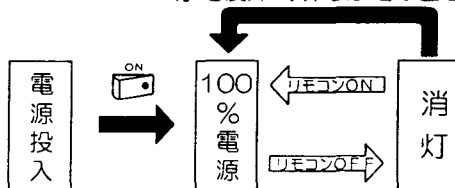
電球形蛍光ランプをご使用になる場合

チャンネルスイッチ ランプ切替スイッチ



- 電球形蛍光ランプは「蛍光灯」モードでご使用ください。
- 壁スイッチをONすると、100%電源が供給されます。

停電復帰（瞬時停電は含まない）

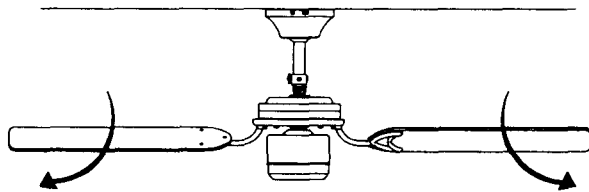
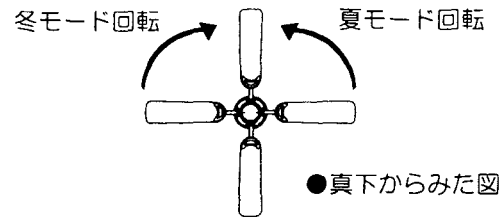


⚠ 警告 発煙・発火・感電のおそれあり。

- 電球形蛍光ランプを「白熱灯」モードで点灯させないでください。

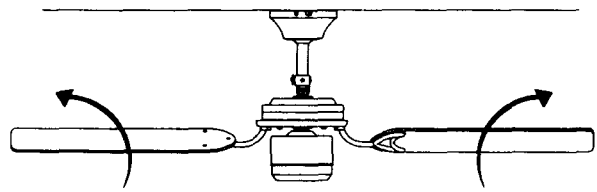
■サーキュレーション効果について

シーリングファンによるサーキュレーション効果で、冷暖房効果がアップし、省エネ効果を高めます。



夏モード回転

- 夏の冷房時には、床面にたまる冷気を循環させ、頭上から冷気が降り注ぐさわやかな空気循環をつくります。



冬モード回転

- 冬の暖房時には、天井近くにたまる暖かい空気を循環させ、お部屋の温度ムラをなくします。

■お手入れのしかた



注意

お手入れの際は必ず電源を切ってください。感電の原因となります。

- シーリングファンのメッキ部分は乾いた布でふいてください。
よごれがひどい場合はぬるま湯またはうすめた中性洗剤を浸した布をよくしぼってからふいてください。
- シーリングファンの羽根はぬるま湯またはうすめた中性洗剤を浸した布をよくしぼってからふいてください。
- シーリングファンの羽根に強い力を加えて変形させないでください。ゆれや振動の原因となります。
- シーリングファンの交換時期は使用条件・環境により異なりますが約8～10年です。ファンには寿命があります。

⚠ 警告

- シーリングファンに直接水をかけて洗わないでください。器具の破損・落下・感電などの原因となります。

⚠ 注意

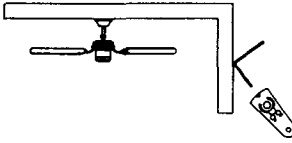
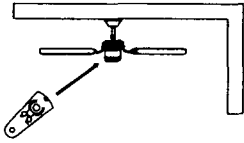
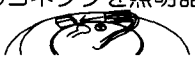
- メッキや塗装をいためますので、ガソリン・ベンジン・シンナーなどの薬品でふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。
- 金属部分をクレンザーやたわしでみがいたりしないでください。傷ついたり腐食の原因となります。

⚠ 安全に関するご注意

- 照明器具、シーリングファンには寿命があります。
- 設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。
点検・交換をおすすめします。
※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯。(JIS C8105-1 解説による。)
- 周囲温度が高い場合、点灯および動作時間が長い場合は、寿命が短くなります。
- 点検せずに長期間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電などに至る恐れがあります。

■故障かな？と思ったら

■故障かな？と思ったら下記を参照に点検を行ってください

現象	No.	考えられる原因	処置方法
ファンが動かない	1	壁スイッチ（電源）がOFFになっている 	壁スイッチをONにしてください 
	2	リモコンの電池が消耗している 	新しい電池と取り替えてください 
	3	リモコンの電池が正しく入っていない	正しい向きに入れてください
	4	リモコンとファン本体のチャンネルが違う	同じチャンネルにしてください 
	5	受光器の表面が汚れている	柔らかい布で汚れをおとしてください
	6	しゃへい物がある 	しゃへい物をさけ送信器をシーリングファンの受光器に向けてリモコン操作をしてください 
	7	羽根が障害物にあたっている	必ず電源を切ってから障害物を取り除いてください
	8	電源配線（接続）が正しく行われていない	お買い求めの販売店・工事店等に依頼してください
	9	壁スイッチ（電源）が故障している	お買い求めの販売店・工事店等に依頼してください
	10	タイマー回路等に接続している	タイマーが優先になっていると動作しない場合があります
本体のゆれが大きい 振動している	11	羽根が破損・変形している	すべての羽根を交換してください
	12	取付天井面が丈夫ではない	丈夫な天井に取り付けてください 補強材は断面積45×45以上が必要です
	13	壁面からの距離が近い	壁面から羽根の先端までは0.7m以上離してください
ファンがとまらない	14	現象No. 2, 3, 5でもないのに止まらない	速やかに壁スイッチを切ってください お買い求めの販売店・工事店等に依頼してください
照明器具（別売）が点灯しない	15	電源コードが差し込まれていない	シーリングファンからのコネクタを照明器具に差し込んでください 
照明器具の明るさを切り替えできない	16	リモコンとファン本体のチャンネルが違う	同じチャンネルにしてください
	17	白熱灯シャンデリアを「蛍光灯」モードで使用している	白熱灯シャンデリアは「白熱灯」モードで使用してください
照明器具が《OFF》ボタンを押しても消灯できない	18	リモコンとファン本体のチャンネルが違う	同じチャンネルにしてください
	19	全光点灯直後、数分間リモコン操作ができない場合がある	数分間経ってから《OFF》ボタンを押してください または《ON》ボタンを押すごとに点灯状態を切り替えて消灯させてください
ファン本体や照明器具からうなり音がする	20	ファン本体のモーターの振動音が、天井面に共鳴する	異常ではありません 天井面を補強してください
	21	白熱灯シャンデリアで調光（80%～20%）点灯している	異常ではありません 調光点灯ではわずかにうなり音が発生します
	22	電球形蛍光ランプを「白熱灯」モードの調光状態で点灯している	電球形蛍光ランプは「蛍光灯」モードで使用してください 発煙・発火のおそれがあります
ファンのリモコン操作ができない	23	リモコンとファン本体のチャンネルが違う	同じチャンネルにしてください
	24	全光点灯直後、数分間リモコン操作ができない場合がある	数分間経ってからリモコン操作をしてください
	25	他の蛍光灯器具が近くにある	他の蛍光灯器具と1.5m以上離してください

■仕様

定格電源電圧							AC100V						
電源周波数 50Hz							電源周波数 60Hz						
	スピード	回転数 (rpm)	風量 (m3/min)	消費電力 (W)	待機電力 (W)	入力電流 (A)		スピード	回転数 (rpm)	風量 (m3/min)	消費電力 (W)	待機電力 (W)	入力電流 (A)
夏回転	強	105	56	29	1.2	0.32	夏回転	強	110	66	36	1.5	0.41
	中	65	36	21		0.25		中	70	43	24		0.33
	弱	42	15	17		0.22		弱	45	16	18		0.28
冬回転	強	100		28		0.30	冬回転	強	105		35		0.40
	中	63		20		0.24		中	65		23		0.32
	弱	40		16		0.21		弱	42		17		0.27

※電圧や室温等の条件により10%程度の誤差が生じる場合があります。

■アフターサービス

- もし器具に異常が生じた場合は、直ちに電源を切り、お買い上げの販売店に、器具の形式（器具銘板に表示してあります。）・故障状況を連絡のうえ、修理を依頼してください。

お客様メモ

後日のために記入しておいてください。
サービスを依頼されるとき役立ちます。

購入店名

電話

ご購入年月日

年

月

日



日立ライティング株式会社

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2-5-2 電話(03)3255-5256

2006.10 R0
(0031627) A